

◆ SS 課題研究 I で取り組んだ研究が「環境奨励賞」を受賞しました！

第 43 回沖繩青少年科学作品展に SS 課題探究 I (生物分野) で取り組んだ「外来爬虫類 (グリーンアノール) の捕獲研究」を出品し、上位入賞となる「環境奨励賞」を受賞しました。この研究では特定外来生物に指定され、環境に多大な悪影響を及ぼす可能性のあるグリーンアノールを効率良く捕獲するため、グリーンアノールの知られていない生態や県内で繁殖可能な個体に生育するまでの日数の推定、冬場の活動の様子などを調査しました。

この調査の考察では、冬場の個体の隠れ場所を推定し、冬場における捕獲場所として最適な場所を提案するなど、特定外来生物が環境に与える影響を軽減させる点で優れた研究であり、研究成果を出すために、2 年 SS 課題探究 I の授業だけでなく、部活動や放課後、休日にも調査地へ赴いて研究を行うなど、時間をかけて作り上げた作品となりました。



【「環境奨励賞」授賞式の様子】



【「環境奨励賞」賞状】

◆ その他「入選」を受賞した作品を紹介します！

【物理分野】

SS 課題探究 I (物理分野) で取り組んだ「靴裏のゴムの効果について」を出品し、「入選」を受賞しました。靴裏のゴムによる摩擦力は、ゴムの形や大きさなどによってどのように変わってくるかを調べる研究でした。実験方法や条件を何度も変えながら実験を行い、空き時間も活用し、成果を上げることが出来ました。

【化学分野】

SS 課題探究 I で取り組んだ「海藻に含まれる保湿成分の研究」を出品し、「入選」を受賞しました。数種類の海藻から保湿成分を抽出し、保湿力の高い海藻を探る研究でした。保湿成分の抽出方法を模索し、放課後や休日にも実験を行うことで、成果を上げることが出来ました。

【生物分野】

SS 課題探究 I (生物分野) で取り組んだ「向陽高校におけるアリの分布」を出品し、「入選」を受賞しました。具志頭海岸林で生息が確認できたアリが、人工的な環境である向陽高校内でも生息が確認できるかを調べる研究でした。研究をまとめるため、顕微鏡を用いて 1 個体ずつ種類を特定する作業を休日や放課後にも行うことで、成果を上げることが出来ました。

SS 課題探究 I (生物分野) で取り組んだ「淡水、汽水、海水における魚類の生存可能領域の違い」を出品し、「入選」を受賞しました。淡水魚、汽水魚、海水魚の塩分濃度の変化に対する耐性を調べる研究でした。当初の研究方法では研究目的を達成できず、実験方法を改め、粘り強く時間をかけてデータを収集し、成果を上げることが出来ました。

【地学分野】

SS 課題探究 I (地学分野) で取り組んだ「地形の違いによる気象要素への影響 part 2」を出品し、「入選」を受賞しました。地形の違いで気象要素の変化が見られるかを調べる研究でした。気温や湿度、風速などの気象データを調べ、過去の先輩方の先行研究のデータと比較しながら、考察を繰り返し、成果を上げることが出来ました。